

# 会報神奈川

令和6年10月20日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 志村幸弥  
〒210-0846 川崎市川崎区小田2-14-17 電話 (044)333-1046

## 会長挨拶



神奈川県神道青年会  
第二十九代会長

志村 幸弥

謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄を御祈念申し上げ、神宮に於かれましても、諸祭恙なく齋行されております事、慶賀に存じ上げます。

今年の夏は各地で酷暑となり、夏の祭礼は厳しさを極めたことと存じます。また、台風や線状降水帯による大雨の被害も各地に及び、殊、一月に震災被害に遭った石川県能登半島においては仮設住宅の床上浸水等が起き、未だ震災の復興も儘ならぬ中、二重の災害を受ける事となりました事は、心痛の極みであります。犠牲になられた方々へ謹んで哀悼の意を表しますと共に、被災された皆様が一日も早く心安らかな生活に戻れるよう、被災地の早期復興を願います。当会としても何かしらの形で少しでも復興支援に貢献できるよう、思案して参りたいと存じます。

さて、前号でもお伝えした通り、当会は本年度より七十五周年記念として様々に事業を企

画、展開して参ります。九月には神宮へ奉告参拝に参りました。参加した会員は元より、参加の叶わなかった会員の想いも込め大前を拝し、七十五周年を迎えたことへの感謝と、周年事業の無事完遂を誓いました。この佳節を、先輩諸賢のこれまでの歩みを振り返りつつ、次代に向けた新たな一步を踏み出す機会としたいと考えております。次なる八十周年、九十周年、そしていづれ迎える百周年を見据えて活動を展開していくためにも、会員の皆様のご協力が不可欠です。積極的なご参加をお願いすると共に、この節目を祝し、未来に向けての道を切り開いて参りましょう。

残りの任期も半年を切りましたが、周年事業の構築を始め、通年の事業においても、微力ではありますが持ち得る力を尽くし、邁進して参る所存です。先輩諸賢におかれましては、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会員各位におかれましては、今後も多くのご意見をお寄せいただき、また事業への積極的なご参加をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、日々の寒暖差が激しく体調を崩しやすい時期でもあります。皆様におかれましては、どうぞご自愛の上、実りの多き秋をお過ごしください。



神奈川県神道青年会



<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

シリーズ 言霊

一期一会

座間神社 宮司

山本 俊昭



今年で  
神奈川県  
神道青年  
会を卒業  
して二十

年になります。あつという間の二十年でしたが、当時一緒に活動した先輩をはじめとする仲間の方々と現在も共に親しく神社庁の活動が出来ることは非常に心強く感じております。旧友のことを「同じ釜の飯を食べた間柄」と表現しますが、正にその例えに合致しているのが青年会で活動を共にした仲間の人たちであり、こうした絆を

得られたことに感謝致しております。

本年はパリオリンピックが開催され、我が国の選手も大いに健闘した結果、海外の開催では過去最高のメダル数を獲得しました。そうした中で日本のお家芸ともいわれる柔道について気になったことがありました。開催地のフランスにおける柔道の競技人口が約五十三万人であるのに対して我が国の柔道人口は約十二万人にとどまっております、フランスが日本の四倍を超える規模を有している点が私にとって大変衝撃的な話でありました。そこで紹介されていた内容が、柔道はスポーツとして体力を養うだけではなく「礼に始まり礼に終わる」という礼儀作法を子供たちに学び身につけさせることが出来る

も更なる振興策が必要ではないかと感じた次第であります。

ところで私が座右の銘にしているのが「一期一会」という言葉です。私的には「人と人との出会いを大切に」という意味で捉えておりますが、本来、茶道においては重要な概念であり、茶道の精神を象徴するものといわれております。それは一度だけの出会いやその瞬間を大切にすることを大切に、日常生活において人との出会いを大切に、その瞬間を丁寧に過ごすことを示唆すると共に、こうした生き方が更に自分自身の人生を豊かにするものと言われております。

る点にフランスでは評価が高いと番組で報道されておりました。柔道が海外において多くの方々に評価されることを改めて実感すると共に我が国における武道を始めとする「道」への普及について

この一期一会の精神は、単に茶道の教えに留まらず神社で奉仕する私たち神職にとっても大切な教訓であると感じております。私たち神職は日頃から人々の冠婚葬祭の場面で奉仕し、結婚式、初宮詣、七五三詣あるいは人生の締めくくりとなる神葬祭など人にとって一生に一度の場面や生涯に二度と無い行事に立ち会っております。こうしたことから、茶道での茶席に臨む心構えに説かれて「同じ機会は二度と無いことを肝に銘じて誠心誠意を尽くすべし」という言葉を私はこれからも大切にしたいと思っております。



神奈川 授与品 記念品 奉製

 **株式会社 神路社**

本社 〒516-0037 三重県伊勢市岩淵2丁目5番29号(株直第26号)  
 電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110  
 I P 電話 050-3536-5273  
 E-mail info@kamiijisya.co.jp

神 苑(東京本会支所) 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階  
 電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721  
 I P 電話 050-3539-3432  
 E-mail info-tokyo@kamiijisya.co.jp  
<http://www.kamiijisya.co.jp>

内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしております

 **神宮会館**  
 伊勢神宮崇敬会

—ご宿泊に関するお問い合わせ—  
 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152  
 TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

インスタグラム好評配信中!



活動報告

五月

神奈川慰霊堂大祭

渉外部 副部長 宮本公太郎

令和六年五月十日、神奈川県戦没者慰霊堂に於いて、神道、仏教、キリスト教、天理教の宗教の垣根を越え、慰霊堂大祭が執り行われました。神奈川県宗教連盟において「宗教」というものが、対立や壁になるのではなく奉仕する全員が手を取り合い、一心に英霊に向かい祈りを捧げる姿は、日本の団結力の源のひとつであると感じ



ました。当日は雲一つない晴天の下、厳肅に式典が執り行われ、皇大神宮の松橋孝行宮司、菊名神社の石川國樹宮司とともに、神社界を代表しご奉仕させていただきました。県内神職が一丸となり英霊、戦災により犠牲になった人々を追悼し、現代に生きる我々を見守っていただき安らかなること、また平和を祈念いたしました。

我々日本人は、祖国のために尽力した方々の思いの上で、今日豊かな国での生活を送れています。この慰霊堂大祭を奉仕させていただきますと、その想いをより痛感することができます。微力ではございますがこの大祭に今後も注力して後世に伝えていくことが、青年



会員としての責務のひとつであると感じました。



六月

第三十回神青協一都七県協議会総会

親睦部 部長 平賀允教

令和六年六月三日、千葉県神道青年会主管により「第三十回神青協一都七県協議会総会」がアパホテル&リゾート東京ベイ幕張・TKP東京ベイ幕張ホールに於いて開催され、当会より志村会長をはじめ八名の会員が出席致しました。

総会では篠泰比呂会長挨拶の後、主



管県挨拶やご来賓にご祝辞ご挨拶を賜りました。続いて議事においては、令和五年度の活動報告・決算報告がなされ、全て承認されました。また会長交代期にあたり、東京地区篠会長から、関東地区馬場裕一会長が新たに就任されました。その後、各単体会より活動報告が行われました。

総会后、元宮内庁式部職楽部 首席楽長の上明彦先生より「宮中雅楽」と題した講演を賜り、雅楽の歴史をはじめ、宮内庁式部職楽部の成り立ちや、貴重な楽生の資料映像を拝見し、雅楽について様々な説明を頂きました。

続いて懇親会では、単体会の枠を越えて賑やかに会員相互の親睦が図ら

れ、一都七県の絆はより強固なものとなり、総会では盛会裏にお開きとなりました。



### 福島県神道青年会 創立七十五周年記念大会

渉外部 部長 坂路禎己

令和六年六月四日に福島県神道青年会創立七十五周年の記念大会が、福島県郡山市のビューホテルアネックスにて開催され、志村会長以下二名で参加して参りました。

当日は全国津々浦々から約二百名の同志、関係者が集まり、盛大に開催されました。記念講演では神社巡拝家の佐々木優太先生が講演され、その後には祝賀会が執り行われました。

祝賀会は、福島県神道青年会が作成された創立七十五周年記念動画にはじまり、宴席では福島県の地酒などが振



舞われ、大変賑やかな祝賀会となりました。

福島県神道青年会と当会は以前より親睦事業、震災の復興事業を通じ互いに交流を深めて参りました。

今後とも、福島県神道青年会の益々の繁栄をお祈りすると共に、当会も様々な事業を通して、更に交流を深めて参りたいと思います。

### 神奈川県神輿保存會 道場祭

渉外部 部長 坂路禎己

令和六年六月八日、横浜市鶴見区安善駅にて神奈川県神輿保存會の道場祭が斎行され、志村会長以下四名にて参加し、神奈川県神輿保存會初代会長のご仏前をお参り致しました。

道場祭は同じ鶴見区の潮田神社の例大祭に併せて行われており、当日は約七十基の神輿や多くの露店が並び賑々しく斎行されておりました。

神奈川県神輿保存會とは以前から様々な事業を通し、親交を深めて参りました。今後も事業を通し更に交流を深めて参りたいと思います。

### 稲作体験事業 お田植え

企画部 副部長 長坂倫旦

当会では、伊勢原市にある御神田において、青少年育成を目的とした稲作体験事業を一年を通じて行っています。

本年は五月七日に耕作者の長嶋様宅にて種蒔きを行い、五月二十四日には会員五名参加のもとクロッケ作業（田んぼの土手作り）を行いました。

そして六月九日、天候が心配される中ではありましたが午前中は快晴となり、会員家族二十三名、一般参加者三十一名、また昨年に引き続き國學院大學の学生十六名の計七十名の皆様にご参加いただきお田植えを行いました。

先ず鎮守様の比々多神社に参拝し、



5月7日 種蒔き



6月9日 お田植え (集合写真)



5月24日 クロツケ作業 (土手作り)

参加者一同お田植えの無事を祈念しました。次に御神田にて厳肅にお田植祭を執行了後、実際に田んぼに入ってお田植え体験を行いました。世話役の小泉様のご指導の下、今年も大勢お集



6月9日 お田植え体験

まりいただきました子供たちを中心に、イセヒカリの苗を植えました。稲作は、日本の歴史と伝統が受け継がれてきた文化のひとつです。今回ご参加いただきました子供たちをはじめ、國學院大學の学生たちも泥だらけになりながら楽しそうにお田植えをしている姿を見て、次の世代にも継承していくべき大切な文化だと改めて感じました。

また、十月に稲刈りを行い、十一月には伊勢の神宮と、神奈川県内の各神社様に収穫したお米を奉納致します。



神道青年全国協議会  
北方領土早期復帰祈願祭

会長 志村幸弥

令和六年六月十九日・二十日、神青協七十五周年記念事業として北方領土の碑の前において、北方領土早期復帰祈願祭が執行されました。

十九日には引き上げ時に北方四島に祀られていた神社より運び出された御神体を預かる根室金刀比羅神社を正式参拝いたしました。その後、宿泊するホテルへ移動し、元島民であり、御年九十歳になられる得能宏先生より、島での生活やその美しさ、旧ソ連兵の上陸時の様子や旧ソ連兵との生活について



てお話を賜り、次に根室高等学校北方領土研究会の会員による出前講座「四島についての基礎知識」を拝聴し、四島返還に向けての署名活動やロシアとの交流についてご説明頂きました。

翌二十日には、北方領土の碑が建立されている納沙布琴平神社へと移動し、清掃奉仕の後、北方領土早期復帰祈願祭が小佐野正崇副会長を齋主に執り行われました。全国より七十名を超える同士が参列し、戦争終結より八十年を迎える中、今なお抱えている国土問題について、一日も早い解決を願い、心一つに祈りを捧げました。

神道青年近畿地区連絡協議会  
設立三十周年記念大会

総務局局長兼監事 山本喜道

令和六年六月二十四日、兵庫県神戸市のホテルオークラ神戸に於いて、「神道青年近畿地区連絡協議会設立三十周年記念大会」が開催されました。



神道青年近畿地区連絡協議会は近畿地区二府四県の神道青年会で構成されており、設立三十周年の記念大会、記念講演、記念祝賀会が開催されました。記念大会では神道青年近畿地区連絡協議会の懇親事業や、来年発災より三十年を迎える阪神・淡路大震災の慰霊の活動が紹介されました。

記念講演の講師として榊子女王殿下の御台臨を仰ぎ、「日本文化を未来に伝えるために」の演題にて御講演を賜りました。榊子女王殿下御自身が創設された一般社団法人「心遊舎」で行っている子どもたちに日本文化を伝える御活動についての御言葉をいただき、大変貴重な機会となりました。



記念祝賀会では、記念講演に引き続き

き榊子女王殿下の御台臨を賜り、近畿地区を中心に全国各単位の青年神職が懇親を深め周年を祝い合う、素晴らしい周年記念大会でありました。

七月

神道政治連盟東京都・神奈川県本部合同靖國神社参拝研修会  
総務局長兼監事 山本喜道

令和六年七月十六日、神道政治連盟東京都・神奈川県本部合同靖國神社参拝研修会が開催されました。今回の参拝研修会は当県神政連神奈川県本部が当番となり、東京都千代田区に鎮座される靖國神社の「みたままつり」の時期に合わせて開催され、神政連青年隊員として当会より志村会長と私の二名が助勢として参加させていただきました。

まず、靖國神社参集殿に集合し、研修会参加者の皆様は靖國神社を正式参拝し、御英霊の御霊に慰霊の誠を捧げられました。その間、我々は一足先に参議院議員会館に赴き、研修会場へ荷物の搬入、会場の舗設をし、参加者を受け入れる準備を致しました。

研修会の講演では、講師として元陸上自衛隊幕僚長の岩田清文先生をお招きし、「台湾有事と日本の安全保障」



という演題でご講演をいただきました。国防という観点で我が国日本を取り巻く国際情勢と安全保障についてお

話いただき、憲法改正の必要性について改めて学ぶことができました。



### 祭式研修会

教養部 部長 湯田敬介

令和六年七月十九日、神奈川県神社庁にて、祭式研修会を開催致しました。講師として神奈川県神社庁祭式講師をお務めで、当会十八代会長でもありません、笠原稲荷神社宮司小野和伸先生をお招きし、県内神職十五名の参加のも行いました。

午前中は基本作法の確認を行いました。日頃の奉仕の中で知らず知らずについてしまった各自の作法の癖を、先生のご指導のもと、一つ一つ確認しながら正しい作法の習得に努めました。午後からは総合祭典についてご講義を賜りました。今回は総合祭典の中でも「修祓」・「神饌献撤」・「奉幣行事」の作法について学びました。「神饌献撤」の際は作法だけではなく神饌についてのご説明もありました。

今回はグループに分かれたりせず、それぞれが各所役を実践する形を取り、先生の号令のもと、参加者の方々は一つずつ丁寧に所作を行いました。普段祭典を奉仕する際、流れを気にしてしまうあまり作法が雑になりがちで



すが、正しい動作やその意味を考えながら作法する事の大切さを改めて認識させられるいい学びの場となりました。



た。研修会終了後には、講師先生も交え懇親会も開催し、参加者の方々にとって充実した研修会となりました。

## 八月

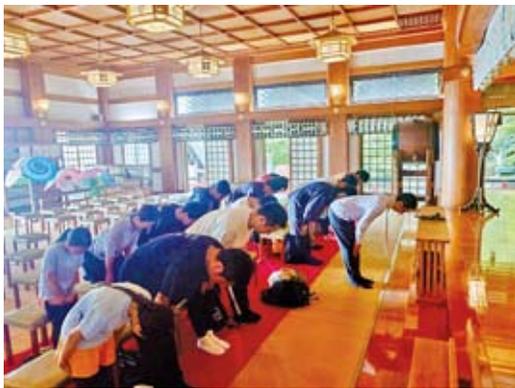
### 会員家族親睦登拜

大山詣り

親睦部 副部長 梶谷成美

令和六年八月七日、会員家族親睦登拜「大山詣り」を親睦部主催で会員家族十五名（大人十一名、子供四名）の参加をいただき開催致しました。

まず初めに大山ケーブルカーで大山阿夫利神社下社まで向かい、正式参拜





を執り行いました。正式参拝後、山頂を目指し登りはじめました。途中、大きな岩や木を登ったり狭い道があったりと険しい道のりでしたが、子供達は元気に力を合わせて楽しく登っており、絆を深めていました。頂上に登ったあとは、目黒旅館さんの手作りお弁当を食べ、頂上の景色を眺め休憩をしました。そして無事全員大きな怪我無

く大山詣りを終えることができました。

コロナ禍を経て初めての家族親睦事業でしたが、参加者の協力のもと会員家族の親交を深める事業となりました。今後もこういった子供達の記憶に残る事業を継続し、次世代に繋いでいければと考えております。

### 神道青年全国協議会 夏期セミナー

副会長 小泉匡史

令和六年八月二十二日正午より、神道青年全国協議会主催による夏期セミナー「彼を知り己を知るゝ国を守るといふこと」が神社本庁二階講堂にて開催されました。

講師の方は、元陸上幕僚長の岩田清文先生、株式会社NOTE代表取締役の藤原岳史先生、株式会社GKK代表取締役の後藤正宜先生よりお話を伺いました。

第一講、岩田先生は「台湾・日本有事に備え、戦争を抑止する」憲法改正・核抑止、タブー無き議論を！」の演題でお話いただきました。その中で国ごとに「国のために戦えるか？」という意見調査があり、国のために戦う意識が世界で一番低い結果が日本でした。



アフガニスタン戦争時、米国は自国のために戦わず、米国ばかり戦わせている国に対して撤退の選択をしました。現在の憲法では日本は自国のために戦う事が困難だと思われれます。その時、わが国日本はどうなるでしょうか。国民全体で考えていかなければならない問題です。何が正しいのかを判断する材料として、また相対的に物事を考えるために岩田先生のお話を色々な方に聞いてほしいと思います。

第二講、藤原先生は「歴史的資源を活用した関光まちづくり」の演題でお話をいただきました。演題にある「関光」とは、観光客としてその地域に行くのではなく、住民としてその地域に行くという意味が込められており、その価値観は自分の発想にはない事だったので勉強になりました。

実際に地域の方にふれあい、そのま



ま移住した事例もあるようです。新しく住人となる方もそうですが、地域の方にとってもどのような人が来るのかかわかるので、双方に利点がある素晴らしい事だと思います。

その他にも積極的に新しい価値観を取り入れ前に進む株式会社NOTEの取り組みには、今後も地域のため、国のために発展していく未来を感じられました。このような組織に人は集まっていく時代だと思います。組織を運営する方のお話は大変参考になり、青年会も他の組織と相対的に考えれば、変化を求められている時代を迎えている時期ではないかと感じました。そのためには今まで築き上げてきたものを変える必要性が出てくるので、時代が変わっても現状維持にならない現状

を受け止めていかなければならないの  
かもしれません。

第三講、北海道の当別神社とくべつがご実家  
の後藤先生は「デジタルが変える世界  
と神社の向き合い方」の演題で、神社  
界のデジタル化についてお話をいただ  
き、先生が開発されたAIチャット  
ボットによる質疑応答のシステム紹介  
をしてくださいました。

デジタル化に関しては、神道の本質  
的な事をどこまで理解し何を大切にす  
るかで方向性は決まってくるのかと思  
いました。神道とは、ビジネス目線で  
あれば方向性は非常に簡単に決められ  
ますが、神社界にとつては、ビジネス  
ではなく日本国民として大切な事があ  
るかと思えますので、根拠をもちデジ  
タル化へと進んでいきたいと考えま  
す。



九月

雅楽講習会入門編

教養部 副部長 牧野裕希

令和六年九月四日、伊勢山皇大神宮・  
儀式殿にて、教養研修・雅楽講習会（入  
門編）を会員十七名の参加にて開催致  
しました。

今回の研修は未経験者や普段は俗人  
として奉仕する事のない会員の方が雅  
楽に触れる機会を作り、これから雅楽  
を始めていくきっかけとなる事を目的  
として企画致しました。

始めに、雅楽の基礎知識や各楽器の  
紹介などの説明を受け、早速稽古に移  
りました。今回は雅楽の中でも聞き馴



染みのある、平調「越殿楽」を課題曲  
としました。まず、唱歌を行い、その  
後各管に分かれて稽古。そして再度集



まり合奏を行い稽古の成果を披露しま  
した。最後に祭祀舞の中でも使われる  
事の多い「豊栄舞」の歌の稽古も行い  
ました。

未経験者や数年のブランクがあると  
いう会員、交流を兼ねて参加して頂い  
た経験者など各員の技量は様々でした  
が、会員同士で教え合う気安さもあり  
活発な練習が行われました。

雅楽の習得には長い年月が掛かりま  
すが、今回の講習が雅楽を通じ、会員  
間の交流を深め、支え合う一助となる  
事を願っています。

親睦体力測定・暑氣払い

親睦部 副部長 水谷友哉

令和六年九月十七日、秋の恒例親睦  
事業として戸塚区のスポーツセンター  
にて体力測定を行いました。握力や上  
体起こし、長座体前屈等の種目を測定  
し、「インボディ」という機械で体  
重や体脂肪率、身体の各部位の筋肉量  
の測定を行いました。最後は結果をア  
プリに打込み、身体年齢等を確認しま  
した。

初の事業でしたが、奉職してから体  
力測定する機会が中々ないので、参加  
者は楽しみながら全力で取り組んでい  
ました。参加者の殆どが測定結果を見  
て日頃の運動不足を感じており、是非



定期的に開催して欲しいとの声も上がっておりました。  
 測定後、余った時間はバスケットボールやフットサル等をして身体を動かしました。  
 その後、横浜に場所を移して暑気払いを行いました。残暑厳しい日が続

令和六年九月十九日、伊香保温泉ホテル木暮に於いて、群馬県神職青年会創立三十周年記念大会「結ぶ」と人と神社と地域と」が開催され、志村会長・山本総務局長と私の三名で参加致しました。  
 当日は記念式典・記念フォーラム(題目「目指せ、参拝者の意識改革」、講

**群馬県神職青年会  
 創立三十周年記念大会**

副会長 小峰敏風



ていますが、会員同士で杯を酌み交わして夏の疲れを癒し、英気を養い、親睦を深めることが出来ました。



師 神社ソムリエ佐々木優太先生)・記念祝賀会・二次会で構成され、群馬県神職青年会を始め、神道青年全国協



議会、全国各単位会、神青協一都七県協議会各単位会の約八十名が参加されました。  
 神社庁長や歴代会長の祝辞が掲載された記念誌を参加者全員に配布し、式典では簡潔なご挨拶で済まされ、事業報告は動画を活用することで概要を掻い摘んで報告されておりました。記念式典の円滑な進行や、副題に沿った講師をお招きされた記念フォーラム等、群馬県神職青年会の皆様が熟考と工夫が凝らされた一貫性を感じ取れる素晴らしい大会でした。  
 当会も来年に記念大会の開催を予定していることから、大変参考になる貴重な経験や情報を提供して頂きました。特に地区の枠を超えた特殊性のある神青協一都七県協議会の交流が、各

単位会として情報交換の最たるものであり、今後を担う当会会員にその重要性や各行事の参加で生まれる関係性を伝えていくことが参加者としての課題となるものでした。

### 歌会始詠進

教養部 部長 湯田敬介

本年も教養部継続事業として、毎年一月に宮中にて行われております「歌会始の儀」へ短歌を詠進しました。当会会員による歌会始詠進は、令和元年の「天皇陛下御即位奉祝神奈川県神道青年会創立七十周年記念事業」の一環として行われた事を起源とし、本年は六度目となります。

歌会始と呼ばれるようになったのは昭和三年の歌会始からですが、それまでは歌御会始うたごいはじめとして行われていました。歌御会始の起源は、必ずしも明らかではありません。鎌倉時代中期、龜山天皇の文永四年一月十五日に宮中で歌御会が行われており、『外記日記』ではこれを「内裏御会始」と明記しています。以後、年の初めの歌御会として位置づけられた歌会の記録が断続的に見受けられます。この事から、歌御会始の起源は遅くとも鎌倉時代中期に遡る事が出来るといえます。そのような長い歴史を有する宮中の

歌会始。令和七年のお題は「夢」でございます。会員それぞれが心を込めて詠んだ詠進歌を本年は三十五首、九月十八日に宮内庁へ発送致しました。短歌は、日本のあらゆる伝統文化の中心をなすものといわれています。その心に触れる事の出来る貴重な事業として、次年度以降も会員の協力を仰ぎ継続して行えるよう努めて参ります。

神奈川県神社庁御用達

## 株式会社 クレックス

代表取締役 近藤 榮 人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六―18―1 ○番地  
電 話 〇四―17―28―894(代)  
F A X 〇四―17―33―356三

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ  
授與品の奉製

## 古都 奈良の 株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地  
TEL 0742-62-3235(代)  
FAX 0742-62-3228

E-mail : hoshindo782@yahoo.co.jp  
HomePage : <http://www.yamato-hoshindo.net/>

**【薬剤効果】・防火難燃性能・防腐効果・防蟻効果**

**エア―鮑 無公害性防火難燃剤**  
**ファイヤニレーターデント防燃水**

木材の大敵、  
「水じみ」  
「木材腐朽菌」除去!

- 多くの神社仏閣・公共施設に採用!
- 1,300℃でも引火しない!
- 無色透明人体・建物に無害!

**移転しました** **コクド環境株式会社 草加事務所**  
〒340-0015  
埼玉県草加市高砂2-11-9 ヴァンパール草加603号  
TEL:048-918-2057/FAX:048-945-5902

### 営業品目

縁起物入みくじ・金属製守・木札守・紙札守  
金欄錦守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

## 株式会社 阿部

〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡5203-1  
TEL (0282) 62-1010(代表)  
FAX (0282) 62-2061

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

## 京都・吉祥院 東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七



電話代表 (075) 691-3000  
FAX (075) 691-3300  
E-mail info@towahosan.jp



大切なイメージをカタチにします。  
**オリジナル授与品・記念品**

株式会社 晃和ディスプレイ  
東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002  
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925  
ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>



〈営業品目〉 ●交通安全御守護  
●開運招福鈴  
●文鎮 金盃  
●各種記念品類  
●胸像・レリーフ・铸造類

**鈴木徽章工芸株式会社**  
〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1  
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332  
E-mail: [info@suzuki-kisho.co.jp](mailto:info@suzuki-kisho.co.jp)  
<http://www.suzuki-kisho.co.jp>

**創業百有余年**  
— 伝統の技術を活かした授与品作り —  
神奈川県神社庁をはじめ  
全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金襴御守・御朱印帳  
交通安全守・彫り木守・守護矢・ステッカー  
シール型守・縁起物・その他各種授与品

株式会社 **井丸紙店**  
TEL 055-272-0136 FAX 055-272-3966  
〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 <https://juyohin.co.jp/>

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製  
天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

**グリーン産商株式会社**  
〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

❖ 授与品全般・神具 ❖

創業安政貳年  
**株式会社秋江**

御守袋・錦守・木札・紙札・絵馬・土鈴  
朱印帳・根付・神具・御装束・記念品

〒602-0056  
京都市上京区堀川通上立売下ル北舟橋町835  
TEL 075(432)2255(代) FAX 075(441)8011  
<http://www.akie-net.com>

授与品・記念品御奉製

株式会社 **長谷川製作所**  
代表取締役 長谷川義實

HASEGAWA  
creation with warmth

〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1  
TEL: 048-921-1221 / FAX: 048-921-1515

**誠実奉仕、信用第一**

神社本庁 御用達  
國學院大學 推薦店  
明治神宮 指定店

**瀬戸装束店**

〔営業品目〕  
●神樂御装束●神樂装束●神社調度  
●祭器具のすべて●神前結婚式場神設設備

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10番5号  
電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927

祈りのかたちに  
京の伝統と真心を込めて

神社寺ならではの御守をオーダーメイドで奉製いたします  
色・柄・形などお気軽に御相談ください

**京都奉製株式会社**  
環境にやさしい地球に誇りをもたせています

京都本社 ● 東京営業所 ● 山台営業所 ● 福岡営業所  
TEL 0120-164124 (イロヨイニシキ)  
ホームページ <http://www.omamori.co.jp>

# 新入会員紹介

近藤 正太郎  
こんどう しょうたろう



生年月日…平成十三年五月二十二日 奉職先…師岡熊野神社 愛称…こんちゃん

出身地…東京都 座右の銘…初心忘るべからず 趣味…特技…野球、ドライブ これからの抱負…本年國學院大學神道文化学部を卒業し、四月より師岡熊野神社でお世話になっております。この度ご厚意により青年会及び野球部に所属させていただきました。大変うれしく思います。未熟者ゆえ至らぬ点が多々ございますが、一刻も早く皆様のお力になれるよう精一杯努力勤めさせていただきます。どうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



安達 都  
あだち 都  
生年月日…平成十一年十二月一日 奉職先…神鳥前川神社

出身地…神奈川県 愛称…みやこ、みやちゃん、あだっちゃん 座右の銘…笑う門には福来る 趣味…特技…温泉、サウナ、映画、和太鼓、主にスイーツの食べ歩き これからの抱負…神鳥前川神社に奉職させていただき、2年以

上が経ちました。日々の神社でのご奉仕などの面で、神職として精進する事はもちろんですが、今の世の中で活躍する一人の社会人としても、恥ずかしくない存在になれるよう頑張ります。まだまだ神職としても社会人としても未熟者ですが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



梶谷 成美  
かじや なるみ  
生年月日…平成十一年二月十日 奉職先…富岡八幡宮 出身地…山形県 愛称…成美、かじ、なる、てらじ 座右の銘…七転八起 趣味…特技…ラーメン屋巡り(最近は煮干しラーメンにハマっています)、スキー、ソフトテニス、綾野剛が出演している映画・ドラマ鑑賞 これからの抱負…今年の一月より再び富岡八幡宮に奉職させていただきました。未熟者ですが、早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

新倉 佳奈恵  
にいくら かなえ  
生年月日…平成十二年十月十一日 奉職先…森戸大明神 出身地…東京都世田谷区 愛称…かなえちゃん 座右の銘…笑う門には福来る



吉田 竜空  
よしだ りゅうく  
生年月日…平成十四年三月四日 奉職先…神奈川県神社庁 出身地…愛知県 愛称…りく、竜 座右の銘…らしくあれ 趣味…特技…ア



渡邊 優斗  
わたなべ ゆうと  
生年月日…平成十年十月三十日 奉職先…寒川神社 出身地…静岡県伊豆市 愛称…なべ、なべさん 座右の銘…温故知新 趣味…特技…筋トレ、サイクリング、美術館巡り これからの抱負…権禰宜を拝命し、神職として最初の一步を踏み出すことができ、奉務神社を始め青年会、さらには神社界の発展に寄与できるよう日々研鑽を積んで参ります。至らぬ点もあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

吉田 竜空  
よしだ りゅうく  
生年月日…平成十四年三月四日 奉職先…神奈川県神社庁 出身地…愛知県 愛称…りく、竜 座右の銘…らしくあれ 趣味…特技…ア



吉田 竜空  
よしだ りゅうく  
生年月日…平成十四年三月四日 奉職先…神奈川県神社庁 出身地…愛知県 愛称…りく、竜 座右の銘…らしくあれ 趣味…特技…ア

吉田 竜空  
よしだ りゅうく  
生年月日…平成十四年三月四日 奉職先…神奈川県神社庁 出身地…愛知県 愛称…りく、竜 座右の銘…らしくあれ 趣味…特技…ア

ニメ鑑賞、サッカー、ライブ これからの抱負…今は神職として社会人としてまだまだ未熟であり、日々先輩方にはお手数をおかけしておりますが、一日でも早く神社界に必要とされる人材になれるよう日々の業務に努めて参ります。また将来、実家の神社に戻った際に胸を張って神明奉仕できるようにするために先輩方にはご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき

## 西紀

有限会社

TEL: 072-810-8133  
FAX: 0120-71-8135  
FAX 24時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7  
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

## 令和6年度前期活動報告

## 4月

- 2 会計局会 (大山・目黒旅館)  
 3 一七協事務局会 (Zoom)  
 4 一七協第15回親睦ゴルフ大会 (習志野カントリークラブ)  
 5 会計局会 (大山・目黒旅館)  
 神青協事業委員会 (Zoom)  
 7 会計監査会 (横浜駅)  
 10 一七協令和6年度第1回定例会議 (日本文化興隆財団)  
 12 第1回拡大役員会・創立75周年記念事業実行委員会 (伊勢山皇大神宮)  
 23 神青協創立75周年記念大会 (明治記念館)  
 24 神青協第75回定例総会 (神社本庁)  
 26 令和6年度定例総会・総会後懇親会 (伊勢山皇大神宮・伊勢山ヒルズ)  
 29 第2回創立75周年記念事業実行委員会 (Zoom)

## 5月

- 7 稲作体験事業種蒔き (御神田)  
 8 一七協監査会 (下高井戸八幡神社)  
 10 慰霊堂大祭助勢 (神奈川県戦没者慰霊堂)  
 神青協事業委員会 (Zoom)  
 20 会報神奈川第77号発行  
 22 親睦部部会 (横浜駅周辺)  
 23 一七協会長会 (浅草)  
 24 一七協事務局会 (Zoom)  
 稲作体験事業クロツケ作業 (御神田)  
 26 第3回創立75周年記念事業実行委員会 (Zoom)  
 29 第2回拡大役員会 (稲毛神社)  
 30 国民の命と生活を守る武道館1万人大会 (日本武道館)

## 6月

- 3 一七協第30回総会 (アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張)  
 4 福島神青創立75周年記念大会 (郡山ビューホテル・アネックス)  
 5 神青協事業委員会 (神社本庁)  
 8 神奈川県神輿保存會道場祭 (鶴見区安善駅)  
 9 稲作体験事業田植体験 (御神田)  
 10 教養部部会 (藤沢駅周辺)  
 19~20 神青協北方領土早期復帰祈願祭 (納沙布金刀比羅神社 北方領土の碑)  
 24 神道青年近畿地区連絡協議会地区設立30周年記念大会 (ホテルオークラ神戸)  
 第4回創立75周年記念事業実行委員会 (Zoom)

- 26 第3回拡大役員会 (伊勢山皇大神宮)  
 28 神社庁定例協議委員会 (神社庁)

## 7月

- 2 一七協会長会 (上野駅周辺)  
 11 渉外部部会 (横浜駅周辺)  
 12 企画部部会 (LINE)  
 16 神政連靖國神社参拝研修会助勢 (靖國神社・参議院議員会館)  
 19 祭式研修会 (神社庁)  
 22 第5回創立75周年記念事業実行委員会 (Zoom)  
 24~25 神社庁青少年書道展・絵画展助勢 (新都市プラザ)  
 26 神政連県本部代議員会 (神社庁)  
 神青協事業委員会 (神社本庁)  
 第4回拡大役員会 (鹿島大神)

## 8月

- 2 一七協令和6年度第2回定例会議 (神社本庁)  
 7 会員家族親睦登拝「大山詣り」(大山阿夫利神社)  
 18 御神田草刈り (御神田)  
 19 神社庁青少年書道展・絵画展授賞式助勢 (杉田劇場)  
 第6回創立75周年記念事業実行委員会 (Zoom)  
 20 残暑見舞い発送  
 22~23 神青協令和6年度夏期セミナー (神社本庁)  
 28 東京都神道青年会夏の野外懇親会参加 (JALスカイミュージアム他)

## 9月

- 2 臨時役員会 (Zoom)  
 3 雅楽講習「入門編」(伊勢山皇大神宮儀式殿)  
 神青協事業委員会 (Zoom)  
 5 神青協竹島領土平安祈願祭 (竹島之碑)  
 10 一都七県神職野球大会 (大井ふ頭中央海浜公園)  
 12 第5回拡大役員会 (鹿島大神)  
 17 親睦体力測定・暑気払い (戸塚スポーツセンター・リザラン横浜店)  
 18 令和7年歌会始詠進  
 19~20 群馬県神道青年会創立30周年記念大会 (ホテル小暮)  
 25~26 創立75周年記念事業神宮奉告参拝 (神宮・松阪市)  
 30 第6回創立75周年記念事業実行委員会 (Zoom)

慶弔報告

◇誕生

田村拓之

親睦部副部長(寒川神社権禰宜)

令和六年七月二日

第一子 長女 音葵おとぎ



金居命良

寒川神社権禰宜

令和六年八月二十二日

第一子 長女 雅珠うた



入会・退会会員

◇入会

杉山神社

富岡八幡宮

寒川神社

神奈川県神社庁雇

森戸大明神

◇退会

杉山神社

鶴岡八幡宮

江島神社

出仕

権禰宜 梶谷 成美

権禰宜 渡邊 優斗

権禰宜 吉田 竜空

権禰宜 新倉佳奈恵

権禰宜 早坂 寿史

権禰宜 高橋 良知

権禰宜 尾崎光太郎

編集後記

此度会報「神奈川」第七十八号発刊にあたりまして、社務お忙しい中、山本宮司様を始め、御寄稿頂きました会員、御協賛各社の皆様に、衷心より篤く御礼申し上げます。

この編集後記を執筆している時期は、パリオリンピック・パラリンピック開催期間中でございます。選手の努力や応援の方々の声援により日本中がメダルラッシュに沸いております。しかしながら、国連総会に於いて開催期間中は世界のあらゆる紛争の休戦を呼びかける決議が採択されたものの、ウクライナやロシア、中東情勢など争いは収まらず、オリンピック開会式直前にはフランス高速鉄道への破壊行為が行われました。問題は国だけにとどまらず、SNSを通じて選手への誹謗中傷など、平和の祭典とは程遠いものとなっております。

現代社会は益々グローバル化が進んでおり、多様性への理解が求められています。他の人を貶し傷つけあうのではなく、お互いの考えを認め尊重し、より良い世の中になっていけばと望まずにはいられません。

広報部副部長 山内 稔之



御装束・御慶・神典  
神祭具調度  
宮内庁御用達・京都百年老舗

有限会社 竹重

〒600-8324 京都市下京区西洞院花屋町上る東側町510

☎075-371-0394 FAX075-341-6966

フリーダイヤル 0120-37-0394



株式会社 ユーカワベ

京都店

〒607-8306 京都市山科区西野山中島井町74-1

TEL 075-501-1411 FAX 075-501-4480

E-mail yukawabe@oak.ocn.ne.jp

東京店

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-13-5

TEL 03-3944-9311 FAX 03-3944-9312



創業百年信頼ブランド

麻・鈴緒・罅口紐・化繊注連縄製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14

フリーダイヤル 0120-22-1312

FAX 0282-22-1387

<https://momidiya.com/>

### ゴルフ同好会



ゴルフ同好会では、不定期ですがゴルフコンペを企画開催しております。今年五月二十二日に静岡県駿東郡にある三甲ゴルフ倶楽部富士コースで四名にて開催し、会員と先輩との親睦を図ることが出来ました。

日本のゴルフ界では、八月に行われたパリオリンピックの男子ゴルフで松山英樹選手が見事銅メダルを獲得され、女子ゴルフでは山下美夢有選手がメダルまであと一歩と、男女ともそれぞれ素晴らしい成績を収められ、コロナ禍で高まったゴルフの人気はますます高まっております。

ゴルフ同好会では、初心者の方にも楽しんでいただけるようゴルフ練習場での練習を企画し、会員同志の親睦を深める一助となるよう活動して参ります。

ます。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

〇四四―四三二―三二七―

### フットサル同好会



当同好会は月に一〜二回横浜市近郊の体育館・フットサル場を中心に活動しております。小泉匡史選手兼監督による本格的な戦術練習から未経験者に合わせた基礎練習、運動不足の方に合わせたフィットネス感覚のボールを使わないトレーニングを始め、お子様方も一緒に楽しめるバラエティ豊かなトレーニングメニューをご用意しておりますので、是非ご家族でのご参加もお待ちしております。

又、当会は毎年秋に開催される「一都七県親睦フットサル大会」優勝を目

標に掲げて活動しております。フットサルを通じて神奈川県だけでなく、他県との交流も行っているため、運動を通して多くの仲間たちとの親睦を深める事が出来る環境となっております。お気軽にご参加ください。

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

〇四四―五一―六〇一〇

### 野球同好会



神職野球大会が開催され、神奈川県は十二年振りの優勝を果たしました。

今大会は初戦から二回戦までコールド勝ちで進み、そのまま破竹の勢いで決勝戦を迎え、決勝戦は緊張の続く試合でしたが、試合に出ている選手の他、ベンチからも熱い声援が球場内にこだました。そして、七対三と見事に勝利を収め、練習はもちろんの事ですが、神奈川県らしい全員野球が途切れなかつた為に成し遂げられた結果だと思えます。また、優勝旗、優勝トロフィーの受賞後には球場内で胴上げが行われ、十二年という長い悔しさを晴らすように全員笑顔で喜び合いました。

このように、私たち野球同好会は秋に行われる野球大会へ向けて月二回、横浜、川崎周辺の野球場を借りて日々練習を行っています。大会に向けての練習だけでなく、野球を通じて親睦を深める事も目的としており、会員の中には野球未経験者もいます。少しでも野球に興味のある方、純粹に野球を楽しみたい方、体を動かしたい方も大歓迎でございますので、お気軽にご参加ください。

【事務局】 神明社 石原誠人

(神道青年会顧問)

〇四五―三四一―六三六五

令和六年九月十日、大井ふ頭中央海浜公園野球場にて第二十八回一都七県